

困る、革命努力中であられませう。それから一般世人も亦命や口二の問題の爲にのみ、心身を苦して居る事と信じて下さい。生等も亦、大詔にも日国民又能く政府を築けて居り、閣下の告諭にも日朝野の衆智を集めて居るにつけても、草昧無智を顧みず、一片の赤誠と日頃の信念とより、情願を意味する建言を待たない次第でありませう。吾れも多き最優生活率にのみ託されて居る生等には、世人既に如何なる意見を具し、政府既に幾種の建策に接し居らるるやを知りませぬが、生等が忙中わづかに知るを得た範圍では、既に帝都復興に關する意見は多々ありまして、未だ全国的大社会政策の建言に至つては、殆んど皆無きはなからうかと思惟せられます。然してその單なる復興案に止る處で、果して理想的のものを

のがあるませうか。實際的な理想案はありませうか。生等が斯く言ふのは、生等が前案具陳の如く、帝都の復興は單に帝都の復興案を以ては完結されず、よしや帝都は復興され得ても、日本には歴史的に解決の急を告げて居る全国的な社会問題があったの下、この全国的大政策を兩却しては、帝都の如何なる理想的復興も、帝国全体に取つては殆んど無意味に近く、或は寧ろより以上の社会問題を生む事やを思ふからであります。従つて生等の建策は、帝都復興の特に形態上に就いては、殆んど方案を成して居ないと言つても可なりでありませう。然し乍らその内容、實質、復興帝都の精神的基礎及び成果の慎重なる民衆的考慮に於いて、その帝都復興案以上、以外に渉れる全国的大發展に資する社会的、經